

社会福祉法人和来原会 令和4年度事業報告(令和3年度事業計画に対する評価)

I. 法人運営

1.法人経営の原則の遵守

社会福祉法人和来原会は法人定款第3条の規定に則り、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供するサービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努める。

事業の実施に当たっては、法人経営の方針・原則を遵守した。

2.理事会・評議員会の開催

① 理事会の開催

第1回令和4年6月13日、第2回令和5年3月27日に開催

②評議員会の開催

第1回 令和4年6月27日に開催

II. 事業運営

社会福祉法人和来原会は、第2種社会福祉事業として、就労継続支援B型事業(2ヶ所)、指定特定相談支援事業、指定一般相談支援(地域定着)事業、短期入所の4本の柱とし、それぞれの運営を行った。

事業目標

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行った。

質の向上

関係機関各所で行われている研修会へ参加はコロナウイルス感染予防のためオンラインで参加をした。

地域課題への取組

- ① 毎月開催される三原市自立支援協議会相談支援会議に参加し、三原市内の相談支援事業所と連携を図り、地域課題について検討を行った。
- ② 毎月開催されている三原市自立支援協議会の定例会に参加し地域課題の解決に取り組むことが出来た。
- ③ 偶数月に開催される三原市就労専門部会会議に参加し、三原市の就労関係事業所と連携を図り、地域課題について検討を行った。

A. 障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）やっさ工房

具体的内容

- (1) 営業時間
午前9時半から午後3時半
- (2) 営業日 月～金（祝日が月曜日の時は営業）
- (3) 作業内容

① 室内作業（下請）	河野工業・(株)光生・坂本ソーイング	
② 図書整備	三原市図書館（啓文社）	委託
③ 封入作業	1回/月 三原市委託	施設外就労
④ 清掃・洗濯業務	サンライズ大池委託（月～土）	施設外就労
⑤ 自主製品作成	革工芸品	
⑥ 古紙回収	4回/年	
- (4) 地域啓発事業
クリーン作戦 2回/月 やっさ工房周辺の清掃 24回行う。
- (5) 就労継続支援B型個別支援計画書の作成
相談支援事業所と連携をとりながら、個々にあった個別支援計画を作成し、支援にあたった。
- (6) 職員研修の充実
職員の質の向上を目指し、積極的に研修会に参加する予定だったが、参加することは難しく、月1回の職員ミーティングにおいて情報共有をおこなった。
10/5～6、10/12～13 サービス管理責任者更新研修職員2名受講した。
- (7) 他機関との連携
会議に出席し他機関との連携を密にする。
相談支援専門部会 就労支援専門部会 こころネット会議に参加した。
- (8) 家族会支援
三保会事務局を置き、三原市と連携しながら定例会を令和4年11/21日 令和5年2/13日 2回開催した。

B. 障害者福祉サービス事業所（相談支援事業所）やっさ相談支援事業所の運営

事業目標

1. 事業概要

相談支援事業所を通し、障害者（児）の自立した生活を支え、障害者（児）の抱える課題や適切なサービス利用に向けて、包括的なケアマネジメントによりきめ細かく支援する。

2. 利用者数 24名(新規1名)

指定一般相談支援事業所（地域定着）

1. 事業概要

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、当該利用者との常時の連絡体制を確保し、当該利用者に対し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他の必要な支援を適切かつ効果的に行う。

2. 利用者数 利用者数 4名

C. 障害者福祉サービス事業所（就労継続支援B型） やっさ工房にしまち

具体的内容

- (1) 営業時間（作業時間）
午前9時半から午後3時半
- (2) 営業日 月～金（祝日が月曜日の時は営業）
土曜日はニーズに応じて職員交代勤務により開所
- (3) 作業内容
 - ① 室内作業(下請け) 坂本ソーイング
 - ② 図書整備 図書組合(啓文社、みどり書店、広島教販)
 - ③ 官公需 (封入作業、本郷福祉保健センター清掃)
 - ④ 清掃・選択 (サンライズ大池、あづみ園、モリタ美研)
 - ⑤ 自主製品作成 革工芸
 - ⑥ 食堂業務 (給食づくり、ランチ、弁当、喫茶)
- (4) 地域啓発事業 さんカフェ・てごの会に貸館を行う。
- (5) 就労継続支援B型個別支援計画書の作成
支援計画に基づき、個々にあった支援を行った。
- (6) 職員研修の充実
職員の質の向上を目指し、積極的に参加予定だったが、研修はできていない
- (7) 他機関と連携
会議に出席し他機関との連携を密にする。
自立支援協議会に参加

D. 短期入所 やっさにしまち

1. 事業概要

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、必要に応じ契約に基づく短期入所を、にしまち3階の宿泊施設を利用して随時受け入れる。当該利用者に対し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他の必要な支援を適切かつ効果的に行う。

2. 利用者数 対象者 3名 利用件数 11件 学生実習生 1名

事業総括

- 両施設とも、利用者が増えてきており、訓練等給付費が伸びてきている。利用者増もあるが処遇改善手当の申請によるもと考えられる。特定処遇改善加算により、管理職の手当て増をしてきたが、今後、職員の処遇に関して検討していくことが必要と思われる。
- 就労支援事業に関しては、委託事業サンライズ大池の業務拡大により、70万円増となったが図書整備が40万円減となり、全体で40万円減となっている。委託事業はもう少し仕事開拓をして行く必要があると考える。直営事業(食堂収入)は3倍の収益になっており、今後、どのように収益を伸ばしていくか両施設で考えていきたい。
- 短期入所の利用度は限られた人に限定してきている。職員体制が不十分な中、今後施設をどう運営していくか柔軟に考えていく必要がある。
- 相談支援は新規1名で、合計24件を抱えている。職員のワンパワー不足で件数を控えているようにしているが、引き続き今後の相談支援をどうしていくか、計画的に相談員を増やしていくのか検討していく必要がある。